



2024年9月10日

各 位

会 社 名 株式会社OSGコーポレーション
代表者名 代表取締役社長 山田 啓輔
(コード：6757 東証スタンダード市場)
問合せ先 取締役管理部長 安岡 正彦
(TEL. 06-6357-0101)

2025年1月期第2四半期(中間期)業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ

2024年3月15日に公表した2025年1月期第2四半期(中間期)の業績予想値と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。なお、2025年1月期通期業績予想に変更はありません。

1. 2025年1月期 第2四半期(中間期)業績予想値と実績値との差異(2024年2月1日～2024年7月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する中間純利益	1株当たり 中間純利益
前回発表予想 (A)	4,210	300	300	180	34円65銭
実績値 (B)	4,084	160	162	104	20円06銭
増減額 (B-A)	△126	△140	△138	△76	
増減率 (%)	△3.0	△46.5	△45.7	△42.1	
(ご参考) 前期第2四半期(中間期)実績 (2024年1月期第2四半期)	3,953	173	197	112	21円62銭

2. 差異の理由

FOOD事業の「銀座に志かわ」におきまして、国内市場は一部エリアにて本部が支援している加盟店不採算店舗の統廃合を進めております。また、物価上昇に伴う原材料費の高騰が依然として続いており、その影響を受けております。

海外市場は4月には中国国内にて中国初の「食パン専門店カフェ・レストラン」となる「上海蟠龍天地店」がオープンいたしました。中国での「食パン市場」は未形成の状態であるため、今後における中国での「食パン市場」については「市場拡大」の予測をしておりますが、現時点においては「投資フェーズ」となっております。

一方、水関連機器事業の「家庭用機器」については、サブスク型ビジネスモデルの成功事例がエネルギー業界を中心として広がりを見せ始め、新規パートナー店との契約が進んでおります。また、「業務用機器」も自治体や学校、商業施設などにおけるニーズは更に高まっており、ウォータークーラーや水自販機などの導入が進んでおります。

「銀座に志かわ」については、国内では上述の原材料費の高騰によるコスト増を吸収するために10月より値上げを予定しており、海外では新たに台湾、米国でのフランチャイズ事業展開を準備・計画しております。

以上のことから、現時点において2025年1月期通期業績予想に変更はございませんが、修正が必要な事象が生じた際には、速やかに開示いたします。

(注) 当資料に記載の業績予想等につきましては、現在入手可能な情報をもとに、当社が計画、予測したものであります。実際の業績等は、今後の様々な条件、要素により当資料の見通しとは異なる結果となる可能性があります。

以上